

ついに造成工事に着手！山を削って土台づくり



最新技術の活用

この工事では、無人航空機（ドローン）を活用し、地形などを測って、3次元設計データ（立体的な設計データ）を作ります。

そのデータをショベルカーに入力すると現場の位置をミリ単位で認識できるため、重機を降りて確認する必要がありません。